

第1回 豊川市子ども・子育て会議録（要約）

平成26年1月15日（水）

午後1時30分から

豊川市役所 本23会議室

1 あいさつ

種井子育て支援監によるあいさつ

2 委員紹介

各委員の自己紹介

3 議 事

（1）子ども・子育て会議の概要及び会長・副会長の選出

◎会議の概要説明

事務局が「資料1」、「資料2」、「資料3」及び「資料7」により会議の概要説明

◎会長・副会長の選出

子ども・子育て会議の設置する前に「豊川市子ども・子育て支援事業計画策定委員会」を設置し、その中で選出された、会長と副会長のもと、審議を行った経緯もあるため、事業の継続性を考慮し、策定委員会に引き続き、会長に白垣委員、副会長に伊奈委員の選出の提案を事務局より行った。

各委員の異議なしにより、

会 長 白垣 潤 委員

副会長 伊奈 克美 委員 に決定。

（2）ニーズ調査について

議事について、事務局が「資料4」により説明

【主な委員の質疑・意見】

- ・回答のあった、児童の年齢別比率は、実際の年齢別構成比との誤差はどの位あるのか。
- ・アンケートの回答者は、「母」が圧倒的多数に対し、子育てや教育を主に行う方は「父母共に」が多い状況には、ギャップを感じた。

【事務局回答・説明など】

- ・回答のあった年齢別構成比率と実際の年齢別構成比率の完全な比較はしていないが、概ね同じと言える。
- ・国のニーズ調査の集計の手引きの提示が遅れており、現段階では準備不足であるため、指摘箇所について、順次検討する。

(3) 今後のスケジュールについて

議事について、事務局より、スケジュールについて「資料5」により説明、計画骨子案のイメージについて「資料6」、「資料7」、「資料8」により説明。

◎計画骨子案のイメージについて

【主な委員の質疑・意見】

- ・国は、何を目的として、何を問題として、取り組ませようとしているかが分からない。例えば、物理的に、量が足りないものを増やすことで、待機児童をゼロにするなどを行うものなのか。
- ・区域設定について、行政の作為がなくても地域の組み合わせ次第で保育園幼稚園の数などで作為的に数値をぼやかす区分けがされていると感じてしまう方が出てくる心配がある。

【事務局回答・説明など】

- ・豊川市の現状としては、少子化であるが、3歳未満の保育希望が若干増えている。そのための物理的確保は必要。年度当初の待機児童はないが、年度途中では発生することがある。そういった状況を踏まえ子育てのバックアップに努める。
- ・今回の区域割については、あくまで、参考と考えていただきたい。保育所など入園に関しては、区域割に縛られることはない。

(4) その他

次回日程について、3月頃開催予定。